

上毛

今月のフォト!

新しい未来への扉

このドアは北海道のカボチャ専門の農業家が道の駅しんよしとみ横の大ノ瀬官衙遺跡に設置したものです。北海道と九州の架け橋になりたいの思いと、九州に一步を踏み出し、新しい未来への扉を開きたいとの願いが込められています。皆さんもこのドアをくぐって新しい未来に一步を踏み出してみませんか?



*広報こうげの表紙を飾る写真を募集しています 詳しくはコチラ⇒



6 こうげ町広報 June 2022 VOL.200

CONTENTS

- 町の掲示板 2
- 町の話 16
- カルチャー 19
- 町の情報ひろば 20
- 上毛の宝 22

<https://www.town.koge.lg.jp>



町の花(春) 桜



町の花(秋) コスモス



町の木 梅

編集発行/上毛町役場企画開発課
印刷/築上印刷株式会社
〒871-0002
福岡県築上郡上毛町大字垂水1-32-1
TEL 0979(72)3111
FAX 0979(72)4664

環境対応型植物油インキを使用しております。

ホームページ



上毛町アプリ



Android用



iphone用

SNS



LINE



Instagram



Twitter



Facebook



YouTube



YouTube

小学生向けダンボールコンポスト講座を開催しました!



ダンボールコンポストとは、ダンボール箱の中に基材を入れて、基材の中の微生物に生ごみを分解させ、たい肥にするものです。

講座の内容としては、家庭から出る生ごみ(野菜くずなど)を1か月間持ち寄り、ダンボールコンポストの中で生ごみがたい肥化されていく経過を観察しました。

生ごみを入れた時と入れた生ごみが分解された後のダンボール箱の重さを比較し、分解され、たい肥となり、花壇や畑で利用できるようになる経過を観察することで、生ごみから野菜を育てるという資源の循環について、身近な存在に感じられたようでした。

生ごみが減れば、生ごみの処理に伴い発生する地球温暖化の原因である二酸化炭素の排出量を抑制でき、世界的に推進しているSDGs(持続可能な開発目標)へ向けた取り組みにつながります。この講座がSDGsを考えるきっかけになればと思います。

町では、生ごみの減量化を推進するため、毎年、小学生向けにダンボールコンポスト講座を開催しており、令和3年度は、南吉富小学校3年生・友枝小学校と唐原小学校4年生を対象に講師を招いての講座を開催しました。生ごみを生ごみとして捨てるのではなく、資源として有効活用するといった体験をとおして、生ごみの減量化へ向けた取り組みを行っています。



●問い合わせ先 住民課 住民福祉係 TEL 72-3116(内線143)



町の未来を担う「上毛の宝」

大平保育所

野菜、大きくなあれ!

毎年、食育活動の一環として、3歳以上児が野菜を育てています。野菜の栽培は、「見る」「触れる」「食べる」など、たくさんの楽しみが詰まっています。自分たちで苗から育てることで、野菜の育つ過程を知ることができます。また、水を与えると育つ、与えなければ育たない...その経験が、「食べ物も生きています」という「いのちの大切さ」を学ぶきっかけにもなります。

今年のはかぼちゃ、きゅうり、ミニトマト、バジル、小玉スイカを植えました。保育士から苗の植え方を教えてもらい、1本1本でいねいに植えていきました。収穫した野菜は給食に使用したり、7月に予定しているお泊り保育の時に、5歳児クラスのみんなが調理活動をして食べる予定です。

園庭や花壇に植えられた苗を見て、「野菜がたくさんできたらいいねー!」と、大きくなるのを楽しみにしています。

